

第60回 鹿児島県高等学校新人卓球競技大会

(全九州高等学校新人卓球選手権大会県予選会) 要項

- 1 主催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿児島県卓球連盟
- 3 主管 鹿児島県高等学校体育連盟卓球競技専門部
- 4 期日 令和8年10月29日(木)～10月31日(土)
※10月28日(水)13時より設営を行います。
開会式9時10分
競技開始9時30分
- 5 会場 鹿児島県総合体育センター体育館 (TEL099-254-5755)
- 6 競技日程 学校対抗団体戦及び個人戦(ダブルス・シングルス)
第1日目…学校対抗団体戦決勝リーグ第2試合までと順位決定戦
第2日目…学校対抗団体戦決勝リーグ第3試合とシングルス男子2回戦, 女子1回戦
個人戦ダブルス決勝まで
第3日目…個人戦シングルス決勝まで

7 競技方法

- (1) 全種目1ゲーム11ポイント制による。シングルスは、5ゲームマッチ(3ゲーム先取), ダブルスは、3ゲームマッチ(2ゲーム先取)のトーナメント方式とする。
- (2) 学校対抗団体戦
 - ① 選手のエントリーは8名以内とし、補欠は認めない。また、3名でも参加を認めるが、オープン出場とする。ただし、2番を棄権にして、オーダーを組むこと。
 - ② 勝敗は、4名～6名による4単1複の5試合3点先取で決める。
 - ③ 試合は、次の順序とする。

順序	1	2	3	4	5
	D	S	S	S	S

※ 但し、D(ダブルス)に出場した選手は2番目のシングルスに出場することはできない。

- ④ 試合は、現行の日本卓球ルールおよび同細則による。
- ⑤ 使用球は、日卓公認球40mmの白球を使用する。

8 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」「学校教育法施行規則第78条の2に示された者」も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。

【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。

- 1 正規職員であること
 - 2 該当部活動の指導を常時行っていること
 - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- ただし、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

9 参加資格

- (1) 本年度鹿児島県高等学校体育連盟連加盟校在籍学生で1・2年制年生に限る。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。また、本年度県卓球連盟登録者であること。

※ 県卓球連盟への登録は、当日は受け付けませんので必ず大会前に登録を済ませること。

- (2) 年齢は平成20（2008）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数合同チームの大会参加については、本連盟が別途に定める「複数校合同チーム大会参加規定」に従う。
- (5) 転校転籍後6か月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りではない。（大会出場許可申請書を提出すること。）
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) その他の事項については、上位大会要項に準ずる。
- (8) 参加資格の特例による学校（生徒）の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。
- (9) 外国人留学生の参加については、全国高等学校体育連盟卓球専門部内規外国籍選手の大会出場制限による。

10 参加制限

- (1) 団体戦 1校1チーム（男女別）とする。
- (2) 個人戦 シングルス16名以内、ダブルス8組以内とする。

なお、団体戦、個人戦とも申し込み締切後の変更は認めないので注意すること。

11 参加申込みの方法

大会参加に際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取り扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 当該学校長の責任において所定の様式（参加申込書）により1部作成し、定められた期日までに申し込むものとする（「大会参加申込提出要項」参照）
- (2) 申し込み方法は、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードする。

※ データは組み合わせに必要なので、seyama-toshio@edu.pref.kagoshima.jpに送付すること。

その際、ファイル名は基礎データにある学校番号を半角でつけて〇〇高校とすること。男女出場校がある場合は、男女別に分けず一つにすること。個人戦は必ず成績順に記入すること。

【問合せ先】

瀬山 利夫（川薩清修館高等学校）TEL0996-44-5020

- (3) 申込締切日時 令和8年10月8日（木）15：00まで
- (4) 申し込み場所 県高等学校体育連盟事務局が指定するファイルシステム
- (5) 参加申し込み提出後に出場を辞退しなければならなくなつた場合には、速やかに専門委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

12 大会参加負担金

- (1) 参加申込制と一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。

なお、大会直前に選手の追加があつた場合は、選手数に加える。

- (2) 団体戦と個人戦を実施する競技については、参加を予定とする実人数とする。（重複しての徴収はしない）
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかつた選手がいても、参加申込書に記載された選手分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

13 表彰 団体、個人とも第3位までを表彰する。

- 14 顧問会議
- ・10月29日（木）8時40分 ステージ
 - 10月30日（金）8時40分 研修棟1階研修室（棄権がある場合は進行に連絡してから出席すること）
 - 10月31日（土）8時40分 ステージ

15 その他

- (1) 申込書に記載された監督・外部指導者・選手のいずれか1名のみ団体・個人のアドバイザーとしてベンチ入りを認める。

なお、申し込み締切後【団体戦（監督・選手）、個人戦（監督）】変更がある場合は、所定の書式を使用し専門委員長へ提出すること。

※監督の変更：高体連（外部指導者の場合）・日本卓球協会に登録してあることを確認し、変更当日の顧問会まで。

団体戦の選手の変更：診断書を添付し、大会当日朝の顧問会まで。

- (2) ユニフォーム、ラケット、ラバーは規定のものを必ず使用すること。日本卓球協会規定のゼッケンをつけない場合は出場を認めないこともある。
- (3) 学校対抗団体戦および個人戦ダブルスのユニフォームは、揃っていない場合は出場を認めないこともある。
- (4) 組合せ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。
- (5) 学校対抗1回戦がある学校は第1日目の受付で配布されるオーダー用紙を記入し、本部進行係に提出すること。

- (6) 大会申込後の無届棄権は、大会運営・組合せ等に重大な支障をきたすので、十分に注意すること。
- (7) 大会組合せプログラムは各チームに一部ずつ配布する。
- (8) 男女学校対抗団体1位～4位は、12月17日（木）から沖縄県で行われる、全九州高等学校新人卓球選手権大会の出場権を得る。
- (9) 朝練習するときは、棄権確認のためにプログラムなどを持参しておくこと。また、第一試合がある選手は練習終了後対戦表を速やかに受け取ってコートに入ること。